

彼方「あなた」

校長通信
H31.3.29
最終号

【役員】

「歌う人」

作詞・作曲：K O K I A

歌える事が命 伝える事が魂

私には声 それぞれ何か 授かった理由がある

人はみんな役目をもって

果たすために生まれてきたの

誰かの為にがんばる姿を

さらけだして生きていくのよ

なぜこんなにも 生きてるってことは

愛おしいの？

生きてるってことなの？

どんなに小さな花も 誰かの心癒したでしょう

怖い事はこの存在自体を

忘れ去られてしまうことなの

心の中で咲き続ける為に

この生涯をかけて種を蒔くの

どんな花が咲くか

いつの日になるのかはわからないけど

今歌うわ 信じてるから 私の声 響いて誰かに

人はみんな役目をもって誰かの為にここにいろの

なぜ こんなにも 愛おしい感覚？

感じながら 今 生きてるってことなの？

メッセージ性のある歌を創り続けるK O K I Aは、

ヨーロッパで活躍する日本人歌手です。



平成十九年、中越沖地震の時に復興を願う柏崎市の女子高校生からもらった一通の手紙に、「私にできること」という曲を作って返事をしたのです。それがきっかけで、その曲が復興ソングとなり、被災者を元気づけていました。そのエピソードがニュースになり、復興支援コンサートの様子と共に紹介されているのをテレビで観ていました。その時から、彼女の歌をよく聴くようになりました。「歌う人」は、彼女が、歌手という自分の仕事を意識して作った楽曲です。誰もが持つ「役員」について語りかけ、一人一人の存在の大切さを訴えている曲です。

今日をもって白山中学校の校長としての「役員」を終えます。二年間という短い間でしたが、沢山の変化（成長）を見届けることができました。本当に充実した二年間を過ごすことができました。卒業式でも『充実した人生』について話をしました。「充実した人生とは、周囲の笑顔のために、自分で考え、今を少しでも良くするために最善を尽くすことができる人生であり、決して取り組んだ時間の長さや結果でつくられる人生ではない。」ということを伝えたかったのです。

学校の中に沢山の目標が作られているのは、それを意識して、今の自分を変える練習をしているからです。互いに磨き合おうとか、支え合おうとか、思いやりを持つとうとか、最後まであきらめずに頑張る

うとか、挨拶しようとか、感動する歌声を作ろうとか、気づきの清掃しようとか、大会で優勝しようとか、〇〇高校に合格しようとか、その時々で沢山の目標を掲げているのは、すべて今の自分に「最善を尽くしているか？」と問いかけていることなのです。大人になるということは、自分以外の誰かのために笑顔を沢山作れるように動くことだと思っています。それは、年齢や結果ではありません。たとえうまくいなくても、諦めずに動き続ければ必ず笑える日が来ます。疲れたら少し休めばいいし、辛ければ少し距離を置けばいいだけです。人生に失敗はありません。なぜなら成功の途中だからです。

今日の私の中学校教師としての卒業にあたっても同じです。「お前は、白山中の校長として最善を尽くしたか？」といつも自分に問いかけていました。正直なところ、まだまだやりたいことが沢山あります。道半ばです。でもここまでの二年間は、本当に楽しく、充実した時間を過ごすことができました。それもすべて皆さんのおかげです。平成最後の年を皆さんと一緒に白山中学校で過ごすことができましたことを誇りに思います。

四月からは、川村学園女子大学で先生を目指す学生を指導します。引き続き、自分の思いを伝え、一緒に学んでいきたいと思っています。同じ市内にある大学です。見かけたら気軽に挨拶してください！保護者の皆さんを始め、多くの方々に支えられ、楽しい時間を与えていただいたことに心から感謝し、校長通信「彼方（最終号）」の筆を置くこととします。最後までお読みいただき、ありがとうございました。